

交通事故死者数 **20人**に
昨年より **50日早い**ペース
全国ワースト3位!

3月3日午前0時50分頃、常陸大宮市内の国道118号上で、普通乗用車が駐車中のキャリアカーに衝突する交通事故が発生し、キャリアカーの荷台で作業していた男性が死亡しました。

この事故で、本年の県内の交通事故死者数は20人(前年同期比+9)となりました。

死亡事故の特徴

- 四輪車乗車中の死者が10人(前年同期比+5人)
内訳は運転者4人、同乗者6人(前年同期比+6人)
- シートベルト非着用死者は5人(運転者1人、同乗者4人)
で、全員がシートベルトを着用していれば助かった可能性がある。
- 死亡事故の19件のうち約7割(68.4%)の13件が夜間に発生、うち約5割の6件が歩行者対四輪車等の事故

車に乗る方へ

- ヘッドライトの早め点灯やハイビームの積極的な活用で、道路の先まで見通し、歩行者等の早期発見に努めましょう。
- 安全のため、後部座席を含めシートベルトは全席着用しましょう。

歩行者の方へ

- 反射材を身につけ、夜間視認性の高い白系の服を着る等、車の運転者に自分の存在を知らせる工夫をしましょう。
- 横断歩道を利用するとともに、走行車両直前の横断等、無理な横断は避けましょう。